

様式3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数							非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数			
看護リハビリテーション学部・理学療法学科	7人	4人	2人	2人	15人	6人	11人	1人	33人	16人
△△課程	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
計	7人	4人	2人	2人	15人	6人	11人	1人	33人	—

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
<input type="radio"/>	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
<input type="radio"/>	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
<input type="radio"/>	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】 養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼 任)
基礎	科学的思考の基盤 人間と生活	キリスト教概論	15	柳本伸良	非常勤講師
		哲学の基礎	15	岩井健太郎	非常勤講師
		文学と人間	15	山田丈美	教授(兼任)
		現代社会と情報	15	碓井洋	非常勤講師
		美濃と飛騨のふくし	15	飯尾良英, 他	教授(兼任)
		宗教と人間	15	佐甲学	教授(兼任)
		健康と人間	15	未開講	
		環境と人間	15	清水大輔, 他	教授(専任)
		現代社会と人間	15	未開講	
		人間と言語発達	15	大森周太郎	非常勤講師
		死生学	15	片桐史恵	教授(兼任)
		ボランティア活動論	15	未開講	
		情報活用論Ⅰ	15	井村保, 他	教授(専任)
		情報活用論Ⅱ	15	井村保, 他	教授(専任)
		情報活用論Ⅲ	15	井村保	教授(専任)
		情報活用論Ⅳ	15	井村保	教授(専任)
		異文化交流	15	未開講	
スポーツ科学論	15	瀧川寛子	助教(兼任)		
身体による表現活動Ⅰ(ス	15	塚本将太	助教(兼任)		

【自己評価 2-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

		ポーツ実技)		
		言語による表現活動Ⅰ-1 (コミュニケーション英語)		ジョーダン、他 非常勤講師
		言語による表現活動Ⅰ-2 (コミュニケーション英語)		ジョーダン、他 非常勤講師
		言語による表現活動Ⅱ-1 (コミュニケーション中国語)		未開講
		言語による表現活動Ⅱ-2 (コミュニケーション中国語)		未開講
		言語による表現活動Ⅲ-1 (コミュニケーション韓国語)		未開講
		言語による表現活動Ⅲ-2 (コミュニケーション韓国語)		未開講
		言語による表現活動Ⅰ-3 (コミュニケーション英語)		未開講
		言語による表現活動Ⅰ-4 (コミュニケーション英語)		未開講
		身体による表現活動Ⅱ (レクリエーション実技)		未開講
		日本国憲法		浅田訓永 教授 (兼任)
		心理学		清水大輔, 他 教授 (専任)
		法学		未開講
		社会学		岩井謙太郎 非常勤講師
		経済学		藪下武司 非常勤講師
		統計学		中川雅人 教授 (兼任)
		生命倫理		岩井謙太郎 非常勤講師
		生物学		未開講
		物理学		未開講

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

		医療安全学 (感染防御学 <感染>)		野田明敬	准教授 (兼任)
		人間発達学		大森周太郎	非常勤講師
		公衆衛生学		田中耕	教授 (兼任)
		臨床心理学		鈴木壯	教授 (兼任)
		コミュニケーション論		益川優子	准教授 (兼任)
		教育心理学		益川優子	准教授 (兼任)
		総合科目A		未開講	
		総合科目B		未開講	
		理学療法基礎 演習Ⅰ		井村保, 他	教授 (専任)
		理学療法基礎 演習Ⅱ		井村保, 他	教授 (専任)
		理学療法基礎 演習Ⅲ		菅沼惇一, 他	准教授 (専任)
		理学療法基礎 演習Ⅳ		菅沼惇一, 他	准教授 (専任)
		解剖学Ⅰ		清水大輔, 他	教授 (専任)
		専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅱ	
運動生理学				三川浩太郎	教授 (専任)
解剖学実習				清水大輔, 他	教授 (専任)
運動器超音波 解剖実習				鵜飼建志, 他	
体表解剖学				笠野由布子, 他	
体表解剖学実習				笠野由布子, 他	
生理学Ⅰ				三上章允	教授 (専任)
生理学Ⅱ				三上章允	教授 (専任)
生理学実習				三上章允, 他	教授 (専任)
運動学Ⅰ				河田龍人, 他	
運動学Ⅱ				笠野由布子, 他	准教授 (専任)
運動学実習				千鳥司浩, 他	教授 (専任)
臨床運動学				鵜飼建志, 他	准教授 (専任)
生体工学				未開講	
病理学総論		清水大輔	教授 (専任)		
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	医学概論		大森正英		
	内科系医療学		三川浩太郎	准教授 (専任)	

【自己評価 4-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

		整形外科系医療学		河田龍人	助教（専任）
		神経内科系医療学		三上章允	教授（専任）
		精神医学系医療学		羽部仁	非常勤等講師
		老年医学系医療学		三上章允	教授（専任）
		リハビリテーション概論		山崎節子, 他	非常勤講師
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	医療福祉論		手島浩司	教授（専任）
		福祉機器入門		井村保	教授（専任）
		生活支援工学（福祉用具適合論）		井村保	教授（専任）
		音楽療法概論		大坪信子	非常勤講師
		理学療法概論		大嶽昇弘	教授（専任）
専門	基礎理学療法学	理学療法特講（理学療法学総合演習）		千鳥司浩, 他	専任
		理学療法研究（卒業研究）Ⅰ		千鳥司浩, 他	専任
		理学療法研究（卒業研究）Ⅱ		千鳥司浩, 他	専任
		理学療法研究（卒業研究）Ⅲ		千鳥司浩, 他	専任
		理学療法管理学		大嶽昇弘, 他	専任
		基礎理学療法検査・測定論Ⅰ		笠野由布子, 他	准教授（専任）
	理学療法評価学	基礎理学療法検査・測定論Ⅱ		菅沼惇一, 他	准教授（専任）
		基礎理学療法検査・測定論Ⅲ		大竹康平, 他	専任
		骨関節障害系理学療法評価学		河田龍人	専任
		内部障害系理学療法評価学		三川浩太郎	准教授（専任）
神経障害系理学療法評価学			千鳥司浩	教授（専任）	

【自己評価 5-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

		スポーツ障害系理学療法評価学		鵜飼建志	准教授（専任）
		物理療法学		千鳥司浩	教授（専任）
		物理療法学実習		千鳥司浩，他	教授（専任）
		日常生活活動学		大嶽昇弘	教授（専任）
		日常生活活動学実習		大嶽昇弘	教授（専任）
		骨関節障害系理学療法学		河田龍人	助教（専任）
		骨関節障害系理学療法実習		河田龍人	助教（専任）
		内部障害系理学療法学		三川浩太郎，他	准教授（専任）
		内部障害系理学療法実習		三川浩太郎，他	准教授（専任）
		神経障害系理学療法学		菅沼惇一	准教授（専任）
		神経障害系理学療法実習		菅沼惇一	准教授（専任）
		スポーツ障害系理学療法学		鵜飼建志	准教授（専任）
		スポーツ障害系理学療法実習		鵜飼建志	准教授（専任）
		小児発達系理学療法学		山本晨平	助教（専任）
		小児発達系理学療法実習		山本晨平	助教（専任）
		老人生活系理学療法学		山崎節子	非常勤講師
		認知運動療法概論		千鳥司浩	教授（専任）
		義肢装具学		大嶽昇弘，他	教授（専任）
		ストレッチング		鵜飼建志	准教授（専任）
		マニュアルセラピー		大嶽昇弘	教授（専任）
		筋力トレーニング論		鵜飼建志	准教授（専任）
		地域理学療法学		笠野由布子	准教授（専任）
	地域理学療法学	生活環境論		井村保	教授（専任）
		臨床体験見学実習		笠野由布子，他	准教授（専任）

【自己評価 6-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

臨床実習	臨床評価実習		鵜飼建志, 他	准教授 (専任)
	総合臨床実習 I		菅沼惇一, 他	准教授 (専任)
	総合臨床実習 II		笠野由布子, 他	准教授 (専任)
	臨床実習指導 I		菅沼惇一, 他	准教授 (専任)
	臨床実習指導 II		菅沼惇一, 他	准教授 (専任)
	臨床実習指導 III		鵜飼建志, 他	准教授 (専任)

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 7-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

【自己評価 8-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
臨床体験見学実習A（医療・福祉施設）	2年後期	理学療法概論	1年前期
		医療福祉論	1年後期
		福祉機器入門	1年前期
		生活支援工学（福祉用具適合論）	2年前期
臨床体験見学実習B（通所・訪問リハ）	2年後期	地域理学療法学	2年前期
		生活環境論	1年後期
臨床評価実習 （情報収集、面接、観察、検査/測定、問題点の列挙（統合と解釈）、目標設定までの評価過程の理解と実践）	3年後期	基礎理学療法検査・測定論Ⅰ	1年後期
		基礎理学療法検査・測定論Ⅱ	2年前期
		基礎理学療法検査・測定論Ⅲ	2年後期
		骨関節障害系理学療法評価学	2年後期
		内部障害系理学療法評価学	2年後期
		神経障害系理学療法評価学	2年後期
		スポーツ障害系理学療法評価学	2年後期
総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ （評価過程の実践及び評価結果に基づく目標設定、治療プログラム立案、治療、効果判定の実践、及び他職種連携、実習施設の機能（役割）の理解と管理業務の体験を含む総合的な実習）	4年前期	物理療法学	3年前期
		物理療法学実習	3年後期
		日常生活活動学	3年前期
		日常生活活動学実習	3年後期
		骨関節障害系理学療法学	3年前期
		骨関節障害系理学療法学実習	3年後期
		内部障害系理学療法学	3年前期
		内部障害系理学療法学実習	3年後期
		神経障害系理学療法学	3年前期
		神経障害系理学療法学実習	3年後期
		スポーツ障害系理学療法学	3年前期
		スポーツ障害系理学療法学実習	3年後期
		小児発達系理学療法学	3年前期
		小児発達系理学療法学実習	3年後期
		老人生活系理学療法学	3年後期
		認知運動療法概論	3年前期
		義肢装具学	2年後期
		ストレッチング	3年前期
		マニュアルセラピー	2年後期
		筋力トレーニング論	2年後期
地域理学療法学	2年前期		
生活環境論	1年後期		

【自己評価 9-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
○	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	1. 理学療法学科会議、2. 大学自己点検・評価委員会
委員名（委員長）	1. 理学療法学科会議 教授：千鳥司浩（委員長）、大森正英、三上章允、井村保、浅野昭裕、濱岸利夫、大嶽昇弘 准教授：鶴飼建志、三川浩太郎、清水大輔、笠野由布子 講師：西中川剛、菅沼惇一 助教：大竹康平  ----- 2. 大学自己点検・評価委員会 出席者 江馬諭学長、片桐多恵子副学長、高木総平宗教総主事、藤岡孝志大学院研究科長、飯尾良英人間福祉学部長、柴田純一人間福祉学科長、大藪元康人間福祉学科長補佐、加藤大輔通信教育部副部長、大森正英看護リハビリテーション学部長、千鳥司浩理学療法学科長、足立久子看護学科長、鈴木壮スポーツ健康科学部長、中川雅人スポーツ健康科学科長、小林直樹教育学部長、服部吉彦小・中学校教諭コース長、西垣吉之幼稚園教諭・保育士コース長、田内英臣学長補佐、鈴木健事務局次長 (事務局)

【自己評価 10-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください

	<p>菊池真企画部長、益田明企画戦略課課長補佐、</p> <p>組織の開催頻度          学科会議：1月に一度、大学自己点検委員会：1月に一度</p> <p>組織の取り組み内容          1. 人事、設備、学生異動、FD、研究、地域貢献、その他学部学科に関する事項          2. 理念・目的、内部質保証、教育研究組織、教育課程・学習成果、学生受け入れ、教員・教員組織、学生支援、教育研究環境、社会連携・社会貢献、大学運営</p> <p>自己点検・評価結果の公表：HP(URL: <a href="https://www.chubu-gu.ac.jp/disclosure/accreditation/">https://www.chubu-gu.ac.jp/disclosure/accreditation/</a>)</p>
組織の開催頻度	<p>学科会議：月に1度開催          大学自己点検委員会：月に1度</p>
組織の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 人事、設備、学生異動、FD、研究、地域貢献、その他学部学科に関する事項</li> <li>- 理念・目的、内部質保証、教育研究組織、教育課程・学習成果、学生受け入れ、教員・教員組織、学生支援、教育研究環境、社会連携・社会貢献、大学運営</li> <li>- 教育改善の研修会の開催企画</li> <li>- . . . .</li> </ul>
自己点検・評価結果の公表	<p>HP(URL: <a href="https://www.chubu-gu.ac.jp/disclosure/accreditation/">https://www.chubu-gu.ac.jp/disclosure/accreditation/</a>)</p>

【自己評価 11-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	1. 学科教務委員会 2. 大学教務委員会
	委員構成等	1. 学部長、学科長、学科教務委員 2. 各学科教務委員、教務課職員
	改善の仕組みの実際	形式に沿った作成(ポリシーに準じ、ポリシー実施に基づくシラバス作成)、修正、入力等の依頼

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

自己点検・評価を前提とした教育活動を心掛け、財団法人大学基準協会、一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の第三者評価結果を受け、改善すべき点を明確にし、その解決方法を月1回開催される学科会議を中心に検討している。